

令和7年度

東播磨・北播磨地域

多面的機能保全
向上活動発表会

2026
1/30
Fri.

三木市文化会館
小ホール

13時30分～16時00分



主催：兵庫県東播磨県民局・北播磨県民局

共催：兵庫県多面的機能発揮推進協議会 管内各市町



プログラム



優良地区の表彰

13:30~

最優秀賞

手中ためいけ協議会 : 稲美町
下三原農地保全会 : 多可町

優秀賞

柳井ため池協議会 : 明石市
新部農地水環境保全隊 : 小野市
岡本地域活動協議会 : 加東市

事例発表

14:10~

手中ためいけ協議会
下三原農地保全会

… 休憩 … (14:50~15:00)

特別講演

15:00~

『農業被害・水害をもたらす侵略的外来水草
ナガエツルノゲイトウから農地を守る』

エコロジー研究所代表・武庫川女子大学非常勤講師
水草研究会監事・大阪市立自然史博物館外来研究員
丸井 英幹 氏



【講師プロフィール】

2008年よりエコロジー研究所を立ち上げ、自然環境の保全に尽力し、武庫川女子大学非常勤講師としても教鞭をとる。ナガエツルノゲイトウに関しては、生態や駆除方法について研究を行い、「いなみ野式遮光シート工法」を開発。県内外で分布調査、駆除活動や駆除の技術指導を幅広く実施し、テレビや各種メディア、研修会を通じてナガエツルノゲイトウの問題を広く発信している。

情報提供

15:40~

『除草剤によるナガエツルノゲイトウの防除について』
加西農業改良普及センター 地域課 相川 慎一郎 普及主査



てなか 手中ためいけ協議会

(加古郡稻美町印南)

「定期的な草刈り・清掃活動で

地域をきれいに」



子ども会との清掃活動

農村の美しい景観を次世代へ守り継ぐため、自治会や子供会、シニアクラブなど多世代が連携し、環境美化に取り組んでいます。定期的な清掃活動や花の植栽で景観を整えるとともに、地域住民が一体となって活動することで、美しい環境づくりと同時に世代を超えた温かい交流の輪を広げています。



手中池本堤の草刈り



溝浚え



農道の碎石敷設作業



バルブの補修作業

【活力ある地域づくり】

農業従事者だけでなく、関係団体である子ども会やシニアクラブにも活動に参画いただき、地域環境保全の重要性をともに考えるべく植花や清掃活動を一緒に行っています。



子ども会との共同活動



シニアクラブとの共同活動

【環境創造型農業の推進】

水・温度の管理にこだわりミツバチによる自然交配で受粉させたメロンの中から、糖度が13度以上のものが『いなみ野メロン』として販売されています。環境に配慮した生産方法や品質・地域性・生産体制などが評価され「ひょうご推奨ブランド」として認証されました。



いなみ野メロン



次代につなぐために

農業従事者の減少や高齢化は当地区でも深刻化しており、近年はJAや農業法人等への作業委託に頼らざるを得ない状況が増えています。しかし、受託する地域の担い手も同様に高齢化しており、今までは今後の耕作体制を維持できません。

個々の負担を減らし、将来にわたり安定した農業経営を行うための受け皿が不可欠です。そこで、地域全体で支えあう「営農組合」への移行を決意し、昨年12月に設立総会を行いました。



雨散散（うばらばら）

しもみはら 下三原農地保全会

(多可町八千代区下三原)

「居心地よい集落 ふれあい下三原！」

令和4年度県登録無形民俗文化財に登録された江戸時代を起源とする雨乞い神事「雨散散（うばらばら）」を元旦の朝に執り行い、農村文化を伝承しています。

また、下三原むらづくり協議会を母体として多様な主体が参画する色々な行事「ふれあい〇〇」を開催し、世代間交流を図っており活力ある集落づくりに取り組んでいます。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



水路の草刈り・泥上げ



ため池堰堤草刈り



鳥獣防護柵の点検・補修



水路補修工事（長寿命化）

【活力ある地域づくり】

「ふれあい祭り」「ふれあいモーニング(4回)」「秋祭り」「グラウンドゴルフ大会」「ミニ門松教室」など多様な主体が参画した色々な行事を年間を通して開催しています。

また、「ふれあい農園」として遊休農地を活用し、さつま芋の苗植付・収穫を老人会・子ども会が主体となり取り組んでいます。



ふれあい祭り



ふれあいモーニング



ミニ門松教室

【環境創造型農業の推進】

堆肥散布による有機農業、土づくりへの取り組みを継続して行なっていき、良質米の生産向上を図ります。



土づくり

次代につなぐために

高齢化の進行が課題ですが、令和6年度に地域計画を策定し、農作業の効率化・省力化のためラジコン草刈機、ドローンによる散布などスマート農業の導入を図ります。また、農地保全管理としては、農家・非農家総出で農道などの草刈りを行なっていきます。さらに放棄田防止の観点から地権者の意向を聴取し、農地中間管理事業を活用するなど担い手への農地の集積・集約化が進むよう取り組み、地域農業を支えていき、「居心地よい集落 ふれあい下三原！」に取り組んでいきます。

優秀賞

やない 柳井ため池協議会

(明石市魚住町金ヶ崎)

「ため池は地域の財産

みんなで守ろう豊かな水辺」



センチピードグラス（ムカデ芝）
の植栽

活動対象の農用地は、魚住東部地区ほ場整備事業により、整備された農用地です。重労働であり、転落の危険も伴う、ため池法面草刈り軽減のため、センチピードグラス（ムカデ芝）の定植・維持管理に積極的に取り組んでいます。また、ため池クリーンキャンペーンを年2回実施し、地域住民との交流を行っています。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



ため池の草刈り



クリーンキャンペーン



水路の清掃



ため池の法面草刈り

【活力ある地域づくり】

地元自治会と連携し、地域住民参加のクリーンキャンペーンを年2回実施し、参加者に花の苗や、焼き芋などを配布し、地域住民との交流を図っています。



クリーンキャンペーン（1回目）



参加者に花の苗配布



クリーンキャンペーン（2回目）



ゴミ拾い

次代につなぐために

現状では農業従事者の高齢化や人手不足が問題となってきており、特に維持管理上、ため池法面などの草刈り作業については、重労働で危険も伴うため、センチピードグラス（ムカデ芝）の定植箇所をさらに増やしていくことや、ラジコン式草刈り機を使用するなど作業の省力化・効率化を積極的に行っていきます。

また、地元自治会と連携し、年2回クリーンキャンペーンのイベントを行うことにより、地域住民との交流を図り、ため池の大切さを伝え、農業者、非農業者で役割分担して、保全に努めています。

優秀賞

新部農地水環境保全隊 (小野市新部町)

「農業体験を通した意識醸成」



ひまわり鑑賞会

共同活動による補修作業を実施するなど、地域で農業用施設の維持管理に取り組んでいます。
また、農業体験（ひまわり栽培、田植え等）の機会を設けて、子どもや非農家の方が農業に親しめるよう努めています。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



農道の草刈り



水路の泥上げ



竣工検査（長寿命化）



簡易補修

【活力ある地域づくり】

景観形成活動では、集落内の農地を活用して、子ども会と一緒にひまわりの種まき、鑑賞会を実施しています。

- 地域の「めぐめぐ農縁」と協同で、地域
- 住民が参加できる田植え体験等を実施して、農業に親しむ機会をつくっています。



種まき



栽培したひまわり



田植え体験



稲刈り体験

次代につなぐために

新部町では農業者の高齢化や農業用施設（パイプライン）の劣化等、地域農業の継続に不安がありますが、農地中間管理事業を活用した農地集積や交付金を活用した施設の長寿命化対策など、農地・農業用施設を適切に維持していくための体制づくりに努めています。

また、当初から実施している子ども会との景観形成活動（ひまわり栽培）は、今年度も多数の参加がありました。今後、参加してくれた子ども達が、農業に関心を持ち地域を担ってくれることを期待しています。



おかもと 岡本地域活動協議会

(加東市岡本)

「地区一丸で築く次世代型保全マネジメント」



センチピードグラス (ムカデ芝)
植栽後の法面

高齢化が進む地域ですが、地区が一体となってセンチピードグラス (ムカデ芝) を導入し、先進的な管理に取り組んでいます。

地区の広報(お知らせ欄)を活用した定期的な活動報告や、役員・営農互助会・地域内外住民によるサツマイモ掘りなど、交流も活発です。

【農地・農業用水等の適切な保全管理】



水路の点検



ため池の草刈り



管理道路倒木処理



水路の補修

【活力ある地域づくり】

本地区では、役員や営農互助会、地域内外の住民が協力し合い、サツマイモ掘りを実施しています。世代や地域を越えて交流を深める貴重な機会となっています。また、地区全体で獣害対策に取り組み、農地を守る体制を整えることで、安心して農業に励める環境づくり、さらに、センチピードグラス (ムカデ芝) を活用した草刈りの省力化にも取り組み、農作業の負担軽減を図っています。これらの活動は「区よりのお知らせ」欄を通して定期的に発信しています。



サツマイモ掘り



花の植栽



センチピードグラス (ムカデ芝) の植栽



区よりのお知らせ

次代につなぐために

地域の農地を未来へつなぐための大切な取組を進めています。担い手と地域が力を合わせ、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を進めることで、限られた農地を最大限に活かせる体制を整えています。また、目標地図に示した範囲の農地を段階的に集積し、団地化を図ることで、より効率的で安定した営農が可能になる基盤づくりにも取り組んでいます。

さらにスマート農業の導入にも積極的に挑戦しています。データ活用や自動化技術を取り入れることで、作業負担の軽減と生産性向上を目指し、次世代が希望を持って農業に向き合える未来をつくろうとしています。地域の農地を守り、育て、未来へ確かな形でつなぐ一歩をこれからも踏み出していくことをめざしています。

×モ

北播磨県民局 加古川流域土地改良事務所
〒673-0423 三木市宿原字寺ノ前70
TEL (0794) 70-7006
FAX (0794) 83-6835